

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2018年11月16日～2050年9月16日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主 要 投資対象	為替ヘッジあり	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
投資制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	隔月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
	資産成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

◇SUZ0337920240917◇

# NWQグローバル厳選証券ファンド

(為替ヘッジあり/隔月分配型) (為替ヘッジなし/隔月分配型)  
(為替ヘッジあり/資産成長型) (為替ヘッジなし/資産成長型)  
(愛称：選択の達人)

## 運用報告書(全体版)

隔月分配型 (第32期(決算日 2024年5月17日)  
第33期(決算日 2024年7月17日)  
第34期(決算日 2024年9月17日))

資産成長型 第12期(決算日 2024年9月17日)  
(作成対象期間 2024年3月19日～2024年9月17日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3379>  
<3380>  
<3381>  
<3382>

## 為替ヘッジあり／隔月分配型

## 最近15期の運用実績

決算期	基準価額				公社債組入率	投資利益率	信託証券比率	純資産額
	(分配落)	税金配	込金	期騰落率				
	円		円		%		%	百万円
20期末 (2022年5月17日)	9,422		30	△	5.3	—	99.2	1,038
21期末 (2022年7月19日)	9,076		30	△	3.4	—	99.4	989
22期末 (2022年9月20日)	9,043		30	△	0.0	—	99.5	985
23期末 (2022年11月17日)	8,920		30	△	1.0	—	99.0	929
24期末 (2023年1月17日)	9,093		30		2.3	—	99.4	943
25期末 (2023年3月17日)	8,658		30	△	4.5	—	99.0	877
26期末 (2023年5月17日)	8,616		30	△	0.1	—	99.2	865
27期末 (2023年7月18日)	8,726		30		1.6	—	99.0	863
28期末 (2023年9月19日)	8,543		30	△	1.8	—	99.5	845
29期末 (2023年11月17日)	8,420		30	△	1.1	—	99.3	843
30期末 (2024年1月17日)	8,689		30		3.6	—	99.3	966
31期末 (2024年3月18日)	8,624		30	△	0.4	0.0	99.3	1,004
32期末 (2024年5月17日)	8,602		30		0.1	0.0	99.3	1,010
33期末 (2024年7月17日)	8,664		30		1.1	0.0	99.3	1,006
34期末 (2024年9月17日)	8,629		30	△	0.1	0.0	99.3	1,005

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

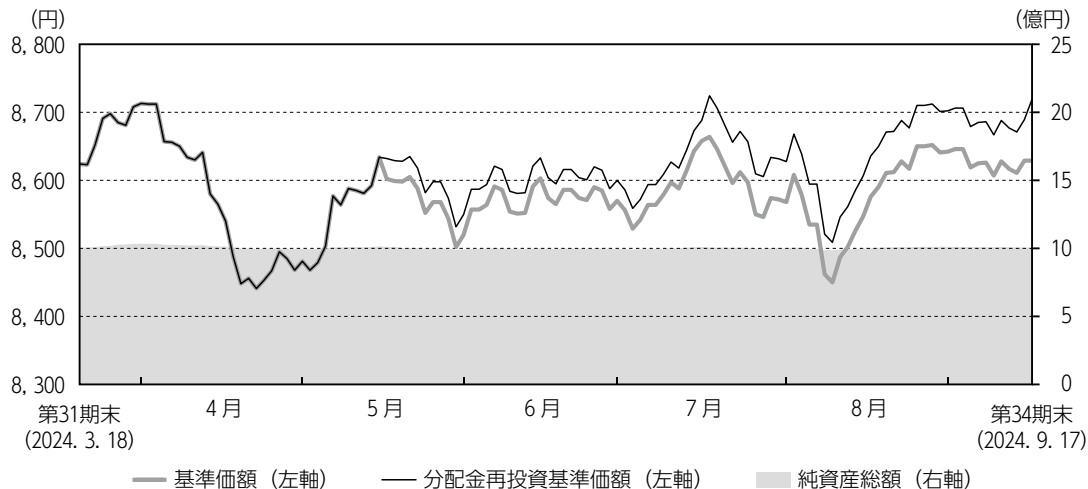
(注3) 公社債組入率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第32期首：8,624円

第34期末：8,629円（既払分配金90円）

騰落率：1.1%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」で保有している投資適格社債やハイイールド債券、株式などが上昇したこ

とがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュ・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
第32期	(期 首) 2024年 3月18日	円	%	%	%
	3月末	8,624	—	0.0	99.3
	4月末	8,713	1.0	0.0	99.1
	(期 末) 2024年 5月17日	8,481	△ 1.7	0.0	99.5
第33期	(期 首) 2024年 5月17日	8,632	0.1	0.0	99.3
	5月末	8,602	—	0.0	99.3
	6月末	8,520	△ 1.0	0.0	99.4
	(期 末) 2024年 7月17日	8,570	△ 0.4	0.0	99.3
第34期	(期 首) 2024年 7月17日	8,694	1.1	0.0	99.3
	7月末	8,664	—	0.0	99.3
	8月末	8,568	△ 1.1	0.0	99.3
	(期 末) 2024年 9月17日	8,642	△ 0.3	0.0	99.2
		8,659	△ 0.1	0.0	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2024. 3. 19 ~ 2024. 9. 17）

### ■ 海外金融市況

海外金融市場では、投資適格社債やハイイールド債券、株式は堅調に推移し、国債金利は低下（債券価格は上昇）しました。

株式市況は、当作成期首より、インフレ再燃が懸念されて米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。2024年4月下旬以降は、インフレ率が低下傾向となり利下げ期待が再び高まったことなどから上昇基調となり、高成長が期待されるAI（人工知能）関連企業の株価急騰が相場をけん引して高値を更新しました。しかし7月中旬以降は、対中輸出規制強化への懸念などから半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善やFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の実質的な利下げ開始発言などを好感して株価は急反発し、おおむね底堅い推移のまま当作成期末を迎えました。

債券市場では、当作成期首より、底堅い米国経済を背景に経済指標が市場予想を上回ったことなどから利下げ織り込みがはく落し、金利は上昇（債券価格は下落）基調となりました。しかし2024年5月に入ると、経済指標の下振れなどから金利は低下に転じました。6月には、FRBが政策金利見直しにおいて2024年の利下げ回数を引き下げましたが、金利への影響は限定的でした。7月以降は、雇用統計などの各種経済指標が予想を下振れたことで年内の利下げ織り込みが加速し、金利は低下基調が強まりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味

が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2024. 3. 19 ~ 2024. 9. 17)

### ■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第32期	第33期	第34期
	2024年3月19日 ～2024年5月17日	2024年5月18日 ～2024年7月17日	2024年7月18日 ～2024年9月17日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>
対基準価額比率 (%)	0.35	0.35	0.35
当期の収益 (円)	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,059	1,074	1,081

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第32期	第33期	第34期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 37.27円	✓ 45.19円	✓ 36.79円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	609.73	613.68	617.18
(d) 分配準備積立金	442.08	445.50	457.22
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,089.10	1,104.37	1,111.20
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,059.10	1,074.37	1,081.20

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第32期～第34期 (2024. 3. 19～2024. 9. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	48円	0.565%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,583円です。
(投 信 会 社)	(14)	(0.165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.386)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	49	0.569	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

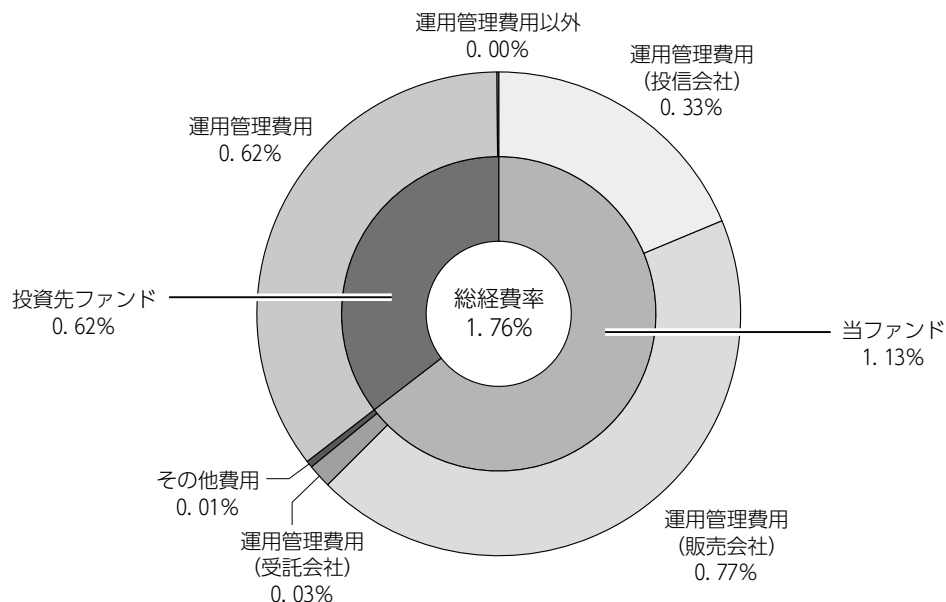
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	1.76%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ■売買および取引の状況

## (1) 投資信託受益証券

(2024年3月19日から2024年9月17日まで)

決 算 期		第 32 期 ～ 第 34 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	486.041969	38,980	451.350098	35,950

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## (2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年3月19日から2024年9月17日まで)

決 算 期	第 32 期 ～ 第 34 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	—	—	179	182

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2024年9月17日現在

項 目	第 34 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 998,876	% 98.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	16,255	1.6
投資信託財産総額	1,015,134	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

## (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 34 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	12,454.048834	998,876	99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

## (2) 親投資信託残高

種 類	第 31 期 末			第 34 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	180	1	1			

(注) 単位未満は切捨て。

# NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年5月17日)、(2024年7月17日)、(2024年9月17日)現在

項 目	第32期末	第33期末	第34期末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,016,225,434円</b>	<b>1,021,185,481円</b>	<b>1,015,134,237円</b>
コール・ローン等	12,331,607	10,674,438	16,255,631
投資信託受益証券（評価額）	1,003,892,207	999,349,424	998,876,986
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,620	1,620	1,620
未収入金	—	11,159,999	—
<b>(B) 負債</b>	<b>5,411,705</b>	<b>15,044,844</b>	<b>9,431,548</b>
未払金	—	5,580,000	—
未払収益分配金	3,525,094	3,483,950	3,496,561
未払解約金	—	4,070,521	3,971,359
未払信託報酬	1,872,936	1,882,947	1,922,164
その他未払費用	13,675	27,426	41,464
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>1,010,813,729</b>	<b>1,006,140,637</b>	<b>1,005,702,689</b>
元本	1,175,031,654	1,161,316,721	1,165,520,382
次期繰越損益金	△ 164,217,925	△ 155,176,084	△ 159,817,693
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,175,031,654口</b>	<b>1,161,316,721口</b>	<b>1,165,520,382口</b>
1万口当り基準価額（C／D）	<b>8,602円</b>	<b>8,664円</b>	<b>8,629円</b>

\* 当作成期首における元本額は1,165,280,926円、当作成期間（第32期～第34期）中における追加設定元本額は42,680,556円、同解約元本額は42,441,100円です。

\* 第34期末の計算口数当りの純資産額は8,629円です。

\* 第34期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は159,817,693円です。

## ■損益の状況

第32期 自2024年3月19日 至2024年5月17日 第33期 自2024年5月18日 至2024年7月17日 第34期 自2024年7月18日 至2024年9月17日

項 目	第32期	第33期	第34期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>6,266,744円</b>	<b>6,183,919円</b>	<b>6,225,025円</b>
受取配当金	6,265,422	6,182,729	6,222,104
受取利息	1,323	1,190	2,921
支払利息	△ 1	—	—
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 3,470,353</b>	<b>△ 6,351,785</b>	<b>△ 4,840,337</b>
売買益	191,458	6,376,486	41,692
売買損	△ 3,661,811	△ 24,701	△ 4,882,029
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 1,886,611</b>	<b>△ 1,896,698</b>	<b>△ 1,936,202</b>
<b>(D) 当期損益金（A+B+C）</b>	<b>909,780</b>	<b>10,639,006</b>	<b>△ 551,514</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 152,824,538</b>	<b>△ 152,305,697</b>	<b>△ 144,578,515</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 8,778,073</b>	<b>△ 10,025,443</b>	<b>△ 11,191,103</b>
（配当等相当額）	（ 71,646,345）	（ 71,267,932）	（ 71,934,361）
（売買損益相当額）	（△ 80,424,418）	（△ 81,293,375）	（△ 83,125,464）
<b>(G) 合計（D+E+F）</b>	<b>△ 160,692,831</b>	<b>△ 151,692,134</b>	<b>△ 156,321,132</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 3,525,094</b>	<b>△ 3,483,950</b>	<b>△ 3,496,561</b>
次期繰越損益金（G+H）	△ 164,217,925	△ 155,176,084	△ 159,817,693
追加信託差損益金	△ 8,778,073	△ 10,025,443	△ 11,191,103
（配当等相当額）	（ 71,646,345）	（ 71,267,932）	（ 71,934,361）
（売買損益相当額）	（△ 80,424,418）	（△ 81,293,375）	（△ 83,125,464）
分配準備積立金	52,801,718	53,501,400	54,082,781
繰越損益金	△ 208,241,570	△ 198,652,041	△ 202,709,371

（注1） 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2） 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3） 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第32期	第33期	第34期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,380,133円	5,248,278円	4,288,823円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収益調整金	71,646,345	71,267,932	71,934,361
(d) 分配準備積立金	51,946,679	51,737,072	53,290,519
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	127,973,157	128,253,282	129,513,703
(f) 分配金	3,525,094	3,483,950	3,496,561
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	124,448,063	124,769,332	126,017,142
(h) 受益権総口数	1,175,031,654□	1,161,316,721□	1,165,520,382□

## 収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当り分配金（税込み）	第32期	第33期	第34期
	30円	30円	30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## 為替ヘッジなし／隔月分配型

## 最近15期の運用実績

決算期	基準価額				公社債 組比率	債 入 率	投 資 組 入 比	信 託 証 券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	込 金	期 騰 落 率					
	円		円		%		%		百万円
20期末 (2022年5月17日)	10,555		70		3.3		—	99.2	9,102
21期末 (2022年7月19日)	10,906		70		4.0		—	99.1	9,432
22期末 (2022年9月20日)	11,240		70		3.7		—	99.0	9,976
23期末 (2022年11月17日)	10,849		80	△	2.8		—	99.4	9,771
24期末 (2023年1月17日)	10,179		80	△	5.4		—	99.3	9,215
25期末 (2023年3月17日)	10,142		80		0.4		—	99.3	9,215
26期末 (2023年5月17日)	10,415		80		3.5		—	99.2	9,695
27期末 (2023年7月18日)	10,763		80		4.1		—	99.0	10,174
28期末 (2023年9月19日)	11,322		80		5.9		—	99.1	11,132
29期末 (2023年11月17日)	11,414		90		1.6		—	99.2	11,917
30期末 (2024年1月17日)	11,595		90		2.4		—	99.4	12,510
31期末 (2024年3月18日)	11,741		90		2.0		0.0	99.2	13,726
32期末 (2024年5月17日)	12,273		90		5.3		0.0	99.0	15,405
33期末 (2024年7月17日)	12,693		90		4.2		0.0	99.0	16,887
34期末 (2024年9月17日)	11,281		90	△	10.4		0.0	99.3	15,752

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

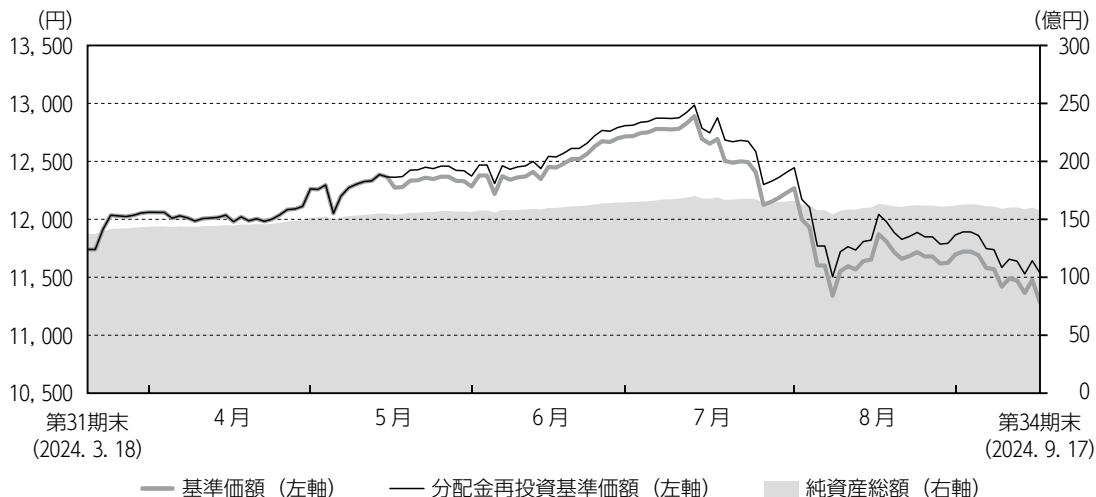
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第32期首：11,741円

第34期末：11,281円（既払分配金270円）

騰落率：△1.7%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」で保有している投資適格社債やハイイールド債券、株式などは上昇したも

の、円高米ドル安が進んだことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュ・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %			
第32期	(期 首) 2024年 3月18日	11,741	—		0.0	99.2
	3 月末	12,061	2.7		0.0	98.8
	4 月末	12,262	4.4		0.0	99.2
	(期 末) 2024年 5月17日	12,363	5.3		0.0	99.0
第33期	(期 首) 2024年 5月17日	12,273	—		0.0	99.0
	5 月末	12,283	0.1		0.0	99.0
	6 月末	12,715	3.6		0.0	99.2
	(期 末) 2024年 7月17日	12,783	4.2		0.0	99.0
第34期	(期 首) 2024年 7月17日	12,693	—		0.0	99.0
	7 月末	12,268	△ 3.3		0.0	99.0
	8 月末	11,697	△ 7.8		0.0	99.1
	(期 末) 2024年 9月17日	11,371	△ 10.4		0.0	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



## 投資環境について

（2024. 3. 19 ~ 2024. 9. 17）

### 海外金融市況

海外金融市場では、投資適格社債やハイイールド債券、株式は堅調に推移し、国債金利は低下（債券価格は上昇）しました。

株式市況は、当作成期首より、インフレ再燃が懸念されて米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。2024年4月下旬以降は、インフレ率が低下傾向となり利下げ期待が再び高まったことなどから上昇基調となり、高成長が期待されるAI（人工知能）関連企業の株価急騰が相場をけん引して高値を更新しました。しかし7月中旬以降は、対中輸出規制強化への懸念などから半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善やFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の実質的な利下げ開始発言などを好感して株価は急反発し、おおむね底堅い推移のまま当作成期末を迎えました。

債券市場では、当作成期首より、底堅い米国経済を背景に経済指標が市場予想を上回ったことなどから利下げ織り込みがはく落し、金利は上昇（債券価格は下落）基調となりました。しかし2024年5月に入ると、経済指標の下振れなどから金利は低下に転じました。6月には、FRBが政策金利見通しにおいて2024年の利下げ回数を引き下げましたが、金利への影響は限定的でした。7月以降は、雇用統計などの各種経済指標が予想を下振れたことで年内の利下げ織り込みが加速し、金利は低下基調が強まりました。

### 為替相場

米ドル円為替相場は下落（円高）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調となりました。その後、過度な円安米ドル高進行に対し政府・日銀が為替介入を行ったものの、円安基調は継続しました。しかし2024年7月以降は、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高米ドル安に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調は継続しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2024. 3. 19 ~ 2024. 9. 17)

### ■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第32期	第33期	第34期
	2024年3月19日 ～2024年5月17日	2024年5月18日 ～2024年7月17日	2024年7月18日 ～2024年9月17日
当期分配金(税込み) (円)	90	90	90
対基準価額比率 (%)	0.73	0.70	0.79
当期の収益 (円)	90	90	83
当期の収益以外 (円)	—	—	6
翌期繰越分配対象額 (円)	2,746	3,149	3,143

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第32期	第33期	第34期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 101.08円	✓ 99.98円	✓ 83.98円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	496.20	390.89	0.00
(c) 収益調整金	1,241.52	1,342.13	1,449.53
(d) 分配準備積立金	997.56	1,406.03	✓ 1,700.38
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,836.38	3,239.05	3,233.90
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,746.38	3,149.05	3,143.90

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第32期～第34期 (2024. 3. 19～2024. 9. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	69円	0.565%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,137円です。
(投 信 会 社)	(20)	(0.165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(47)	(0.386)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	69	0.569	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

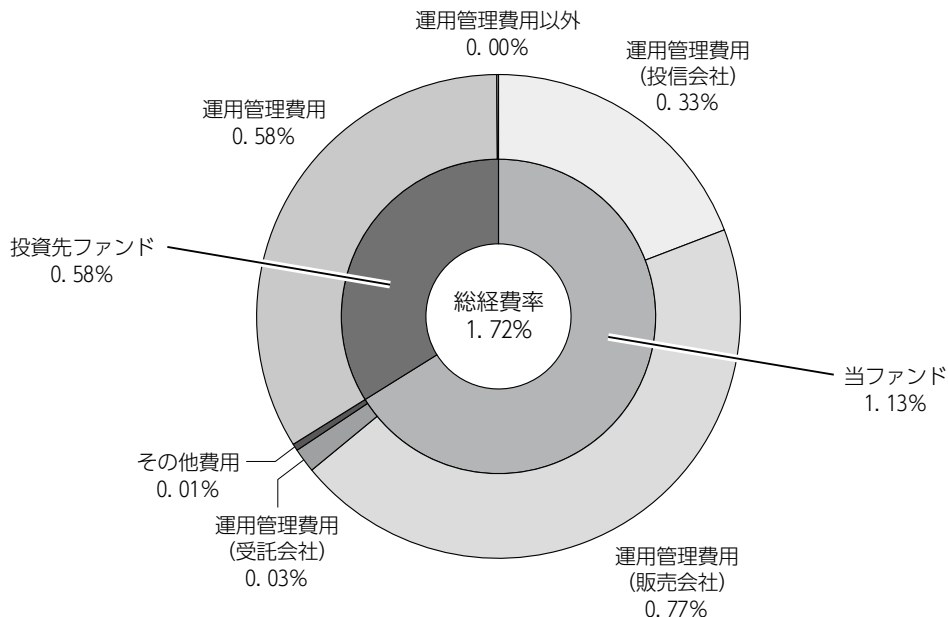
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.72%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ■売買および取引の状況

## 投資信託受益証券

(2024年3月19日から2024年9月17日まで)

決 算 期		第 32 期 ～ 第 34 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	25,661.785551	2,870,069	1,218.18535	130,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## (2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年3月19日から2024年9月17日まで)

決 算 期	第 32 期 ～ 第 34 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	—	—	736	748

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2024年9月17日現在

項 目	第 34 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 15,637,164	% 98.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	297,877	1.9
投資信託財産総額	15,935,043	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

## (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 34 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON- HEDGED DISTRIBUTION CLASS	150,269.215874	15,637,164	99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

## (2) 親投資信託残高

種 類	第 31 期 末	第 34 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	737	1	1

(注) 単位未満は切捨て。

# NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年5月17日)、(2024年7月17日)、(2024年9月17日) 現在

項 目	第32期末	第33期末	第34期末
<b>(A) 資産</b>	<b>15,584,483,817円</b>	<b>17,038,691,046円</b>	<b>15,935,043,412円</b>
コール・ローン等	325,859,123	314,355,477	297,877,088
投資信託受益証券（評価額）	15,258,623,244	16,724,334,119	15,637,164,873
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,450	1,450	1,451
<b>(B) 負債</b>	<b>178,746,516</b>	<b>151,020,729</b>	<b>182,598,441</b>
未払収益分配金	112,968,343	119,745,095	125,669,607
未払解約金	38,399,948	516,697	25,240,512
未払信託報酬	27,179,378	30,338,133	31,040,427
その他未払費用	198,847	420,804	647,895
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>15,405,737,301</b>	<b>16,887,670,317</b>	<b>15,752,444,971</b>
元本	12,552,038,203	13,305,010,643	13,963,289,755
次期繰越損益金	2,853,699,098	3,582,659,674	1,789,155,216
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>12,552,038,203口</b>	<b>13,305,010,643口</b>	<b>13,963,289,755口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	12,273円	12,693円	11,281円

\* 当作成期首における元本額は11,691,597,883円、当作成期間（第32期～第34期）中における追加設定元本額は2,631,016,302円、同解約元本額は359,324,430円です。

\* 第34期末の計算口数当りの純資産額は11,281円です。

## ■損益の状況

第32期 自2024年3月19日 至2024年5月17日 第33期 自2024年5月18日 至2024年7月17日 第34期 自2024年7月18日 至2024年9月17日

項 目	第32期	第33期	第34期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>131,516,733円</b>	<b>139,253,464円</b>	<b>148,536,235円</b>
受取配当金	131,489,358	139,221,046	148,462,445
受取利息	27,388	32,418	73,790
支払利息	△ 13	—	—
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>645,584,380</b>	<b>544,420,597</b>	<b>△ 1,902,029,143</b>
売買益	648,178,501	546,257,368	13,863,600
売買損	△ 2,594,121	△ 1,836,771	△ 1,915,892,743
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 27,378,225</b>	<b>△ 30,560,090</b>	<b>△ 31,267,518</b>
<b>(D) 当期損益金（A+B+C）</b>	<b>749,722,888</b>	<b>653,113,971</b>	<b>△ 1,784,760,426</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>1,252,143,448</b>	<b>1,870,732,214</b>	<b>2,374,293,007</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>964,801,105</b>	<b>1,178,558,584</b>	<b>1,325,292,242</b>
（配当等相当額）	（ 1,558,371,249）	（ 1,785,717,042）	（ 2,024,027,956）
（売買損益相当額）	（△ 593,570,144）	（△ 607,158,458）	（△ 698,735,714）
<b>(G) 合計（D+E+F）</b>	<b>2,966,667,441</b>	<b>3,702,404,769</b>	<b>1,914,824,823</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 112,968,343</b>	<b>△ 119,745,095</b>	<b>△ 125,669,607</b>
次期繰越損益金（G+H）	<b>2,853,699,098</b>	<b>3,582,659,674</b>	<b>1,789,155,216</b>
追加信託差損益金	964,801,105	1,178,558,584	1,325,292,242
（配当等相当額）	（ 1,558,371,249）	（ 1,785,717,042）	（ 2,024,027,956）
（売買損益相当額）	（△ 593,570,144）	（△ 607,158,458）	（△ 698,735,714）
分配準備積立金	1,888,897,993	2,404,101,090	2,365,892,117
繰越損益金	—	—	△ 1,902,029,143

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。



## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第32期	第33期	第34期
(a) 経費控除後の配当等収益	126,884,337円	133,028,374円	117,268,717円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	622,838,551	520,085,597	0
(c) 収益調整金	1,558,371,249	1,785,717,042	2,024,027,956
(d) 分配準備積立金	1,252,143,448	1,870,732,214	2,374,293,007
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	3,560,237,585	4,309,563,227	4,515,589,680
(f) 分配金	112,968,343	119,745,095	125,669,607
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	3,447,269,242	4,189,818,132	4,389,920,073
(h) 受益権総口数	12,552,038,203□	13,305,010,643□	13,963,289,755□

## 収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当り分配金（税込み）	第32期	第33期	第34期
	90円	90円	90円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## 為替ヘッジあり／資産成長型

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額				公社債組入率	投資信託比率	純資産額
	(分配落)	税金	込騰	落中率			
	円	円		%	%	%	百万円
8期末（2022年9月20日）	9,703	0	△	8.5	—	99.3	775
9期末（2023年3月17日）	9,383	0	△	3.3	—	98.8	758
10期末（2023年9月19日）	9,354	0	△	0.3	—	99.1	692
11期末（2024年3月18日）	9,541	0		2.0	0.0	95.3	712
12期末（2024年9月17日）	9,645	0		1.1	0.0	99.3	621

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）公社債組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

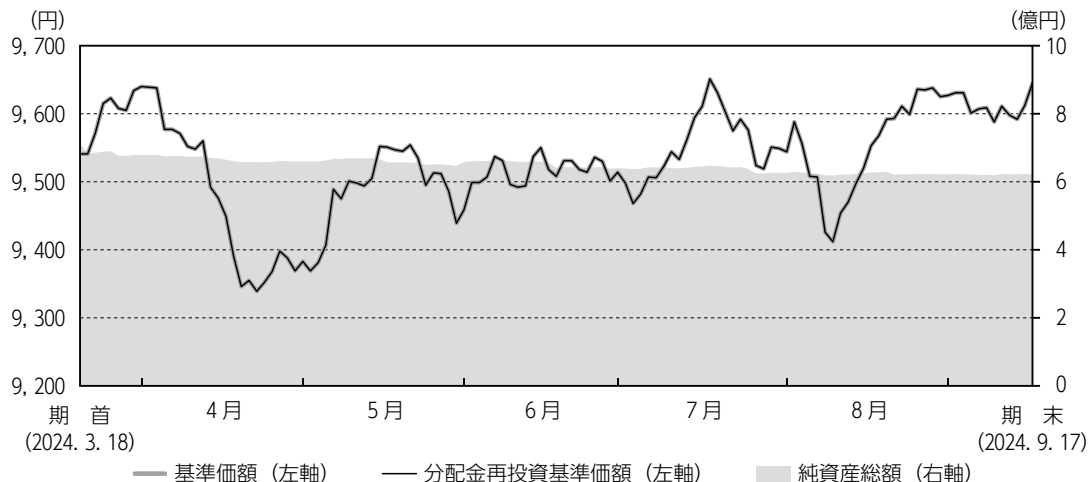
（注3）公社債組入率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：9,541円

期末：9,645円（分配金0円）

騰落率：1.1%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」で保有している投資適格社債やハイイールド債券、株式などが上昇したこ

とがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 証 比	託 券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2024年 3月18日	9,541	—		0.0			95.3
3 月 末	9,640	1.0		0.0			99.3
4 月 末	9,383	△ 1.7		0.0			99.3
5 月 末	9,459	△ 0.9		0.0			97.8
6 月 末	9,514	△ 0.3		0.0			99.3
7 月 末	9,544	0.0		0.0			99.3
8 月 末	9,627	0.9		0.0			99.5
(期 末) 2024年 9月17日	9,645	1.1		0.0			99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2024. 3. 19 ~ 2024. 9. 17）

### ■海外金融市況

海外金融市場では、投資適格社債やハイイールド債券、株式は堅調に推移し、国債金利は低下（債券価格は上昇）しました。

株式市況は、当作成期首より、インフレ再燃が懸念されて米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。2024年4月下旬以降は、インフレ率が低下傾向となり利下げ期待が再び高まったことなどから上昇基調となり、高成長が期待されるAI（人工知能）関連企業の株価急騰が相場をけん引して高値を更新しました。しかし7月中旬以降は、対中輸出規制強化への懸念などから半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善やFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の実質的な利下げ開始発言などを好感して株価は急反発し、おおむね底堅い推移のまま当作成期末を迎えました。

債券市場では、当作成期首より、底堅い米国経済を背景に経済指標が市場予想を上回ったことなどから利下げ織り込みがはく落し、金利は上昇（債券価格は下落）基調となりました。しかし2024年5月に入ると、経済指標の下振れなどから金利は低下に転じました。6月には、FRBが政策金利見直しにおいて2024年の利下げ回数を引き下げましたが、金利への影響は限定的でした。7月以降は、雇用統計などの各種経済指標が予想を下振れたことで年内の利下げ織り込みが加速し、金利は低下基調が強まりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味

が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

#### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2024. 3. 19 ~ 2024. 9. 17)

#### ■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

#### ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

#### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年3月19日 ～2024年9月17日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>(円)</b>	<b>—</b>
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,974

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 3. 19~2024. 9. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	54円	0.565%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,530円です。
（投信会社）	(16)	(0.165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(37)	(0.386)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	54	0.569	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

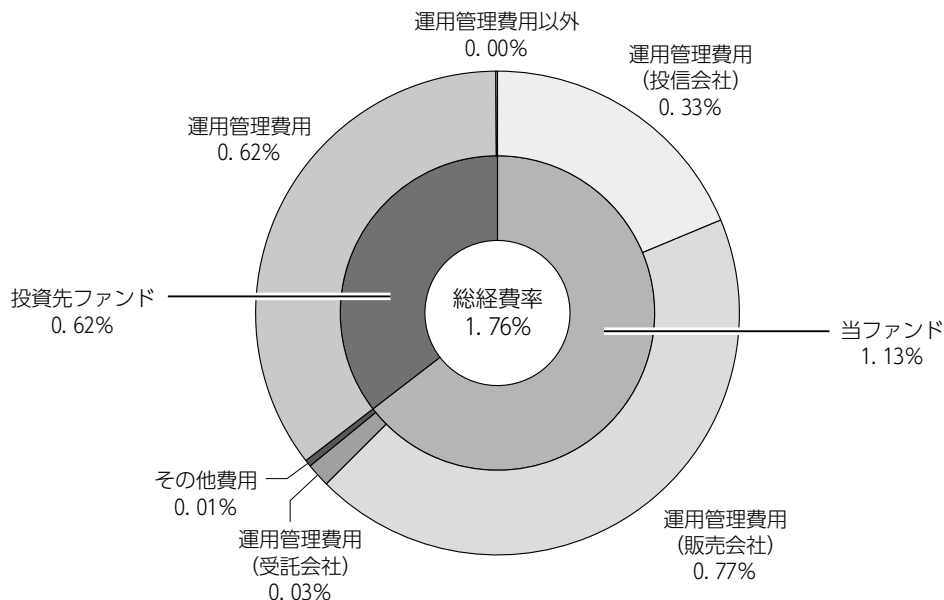
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	1.76%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ■売買および取引の状況

## 投資信託受益証券

(2024年3月19日から2024年9月17日まで)

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	千口 304.67208	千円 24,284	千口 1,053.69247	千円 84,320

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## (2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年3月19日から2024年9月17日まで)

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 93	千円 95

(注) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

## (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	千口 7,692.141663	千円 616,948	% 99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

## (2) 親投資信託残高

種類	当期末		
	口数	口数	評価額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 95	千口 1	千円 1

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2024年9月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 616,948	% 98.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	12,250	1.9
投資信託財産総額	629,200	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年9月17日現在

項目	当期末
(A) 資産	633,530,709円
コール・ローン等	7,920,687
投資信託受益証券（評価額）	616,948,222
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,800
未収入金	8,660,000
(B) 負債	12,368,842
未払金	4,330,000
未払解約金	4,347,058
未払信託報酬	3,665,059
その他未払費用	26,725
(C) 純資産総額（A－B）	621,161,867
元本	643,993,556
次期繰越損益金	△ 22,831,689
(D) 受益権総口数	643,993,556口
1万口当り基準価額（C/D）	9,645円

\* 期首における元本額は746,287,692円、当作成期間中における追加設定元本額は23,929,021円、同解約元本額は126,223,157円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,645円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は22,831,689円です。

■損益の状況

当期 自2024年3月19日 至2024年9月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	11,529,039円
受取配当金	11,524,219
受取利息	4,820
(B) 有価証券売買損益	△ 1,011,647
売買益	562,122
売買損	△ 1,573,769
(C) 信託報酬等	△ 3,691,784
(D) 当期損益金 (A + B + C)	6,825,608
(E) 前期繰越損益金	△ 56,877,746
(F) 追加信託差損益金	27,220,449
(配当等相当額)	( 45,987,475)
(売買損益相当額)	(△ 18,767,026)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 22,831,689
次期繰越損益金 (G)	△ 22,831,689
追加信託差損益金	27,220,449
(配当等相当額)	( 45,987,475)
(売買損益相当額)	(△ 18,767,026)
分配準備積立金	81,199,511
繰越損益金	△ 131,251,649

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	7,837,255円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	45,987,475
(d) 分配準備積立金	73,362,256
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	127,186,986
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	127,186,986
(h) 受益権総口数	643,993,556口

## 為替ヘッジなし／資産成長型

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	債入率	投資利益率	信託証券比率	純資産額
	(分配落)	税金配込	期騰落率					
	円	円	%		%			百万円
8期末（2022年9月20日）	13,151	0	11.4		—		99.2	2,282
9期末（2023年3月17日）	12,140	0	△ 7.7		—		99.0	2,253
10期末（2023年9月19日）	13,859	0	14.2		—		99.3	2,687
11期末（2024年3月18日）	14,714	0	6.2		0.0		98.2	3,357
12期末（2024年9月17日）	14,450	0	△ 1.8		0.0		99.3	4,011

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

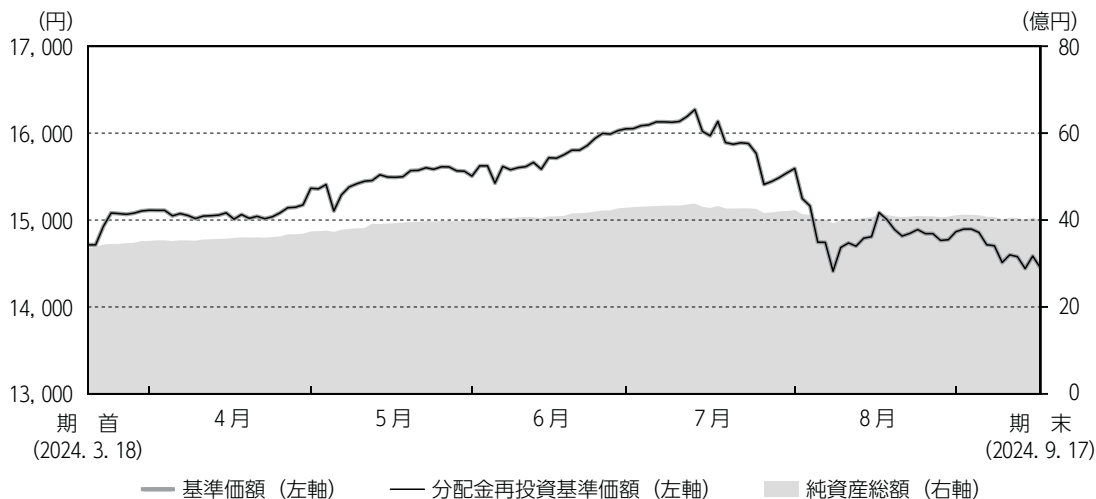
（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：14,714円

期末：14,450円（分配金0円）

騰落率：△1.8%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」で保有している投資適格社債やハイイールド債券、株式などは上昇したも

の、円高米ドル安が進んだことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 証 比	託 券 率
	円	騰 落 率 %					
(期 首) 2024年 3月18日	14,714	—		0.0			98.2
3 月末	15,113	2.7		0.0			99.3
4 月末	15,365	4.4		0.0			98.9
5 月末	15,505	5.4		0.0			98.8
6 月末	16,049	9.1		0.0			99.2
7 月末	15,593	6.0		0.0			99.2
8 月末	14,865	1.0		0.0			98.8
(期 末) 2024年 9月17日	14,450	△ 1.8		0.0			99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2024. 3. 19 ~ 2024. 9. 17）

## ■ 海外金融市況

海外金融市場では、投資適格社債やハイイールド債券、株式は堅調に推移し、国債金利は低下（債券価格は上昇）しました。

株式市況は、当作成期首より、インフレ再燃が懸念されて米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。2024年4月下旬以降は、インフレ率が低下傾向となり利下げ期待が再び高まったことなどから上昇基調となり、高成長が期待されるAI（人工知能）関連企業の株価急騰が相場をけん引して高値を更新しました。しかし7月中旬以降は、対中輸出規制強化への懸念などから半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかになり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善やFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の実質的な利下げ開始発言などを好感して株価は急反発し、おおむね底堅い推移のまま当作成期末を迎えました。

債券市場では、当作成期首より、底堅い米国経済を背景に経済指標が市場予想を上回ったことなどから利下げ織り込みがはく落し、金利は上昇（債券価格は下落）基調となりました。しかし2024年5月に入ると、経済指標の下振れなどから金利は低下に転じました。6月には、FRBが政策金利見通しにおいて2024年の利下げ回数を引き下げましたが、金利への影響は限定的でした。7月以降は、雇用統計などの各種経済指標が予想を下振れたことで年内の利下げ織り込みが加速し、金利は低下基調が強まりました。

## ■ 為替相場

米ドル円為替相場は下落（円高）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調となりました。その後、過度な円安米ドル高進行に対し政府・日銀が為替介入を行ったものの、円安基調は継続しました。しかし2024年7月以降は、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高米ドル安に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調は継続しました。



## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2024. 3. 19 ~ 2024. 9. 17)

### ■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2024年3月19日 ～2024年9月17日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>（円）</b>	<b>—</b>
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	5,142

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 3. 19～2024. 9. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	87円	0.565%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は15,322円です。
(投 信 会 社)	(25)	(0.165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(59)	(0.386)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	87	0.569	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

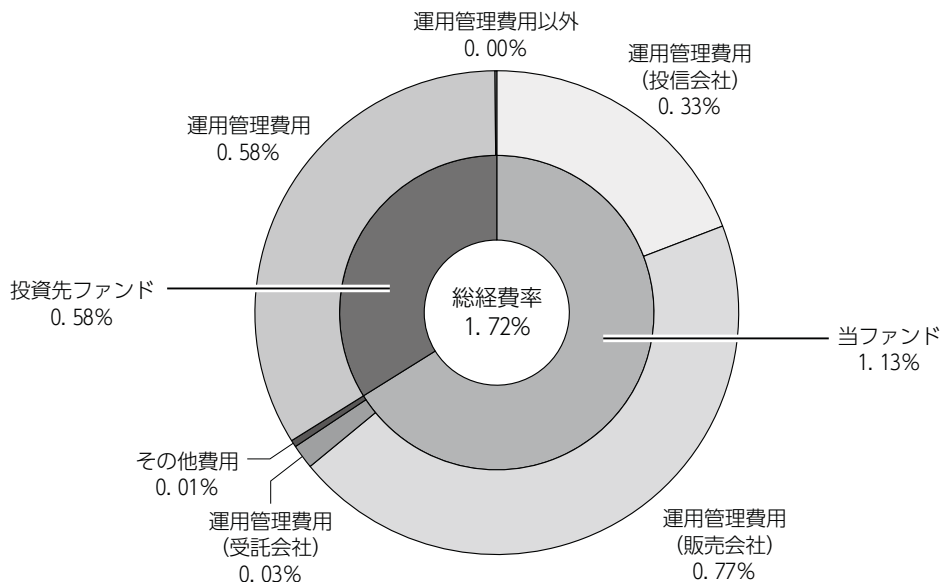
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.72%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

# NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）

## ■売買および取引の状況

### (1) 投資信託受益証券

(2024年3月19日から2024年9月17日まで)

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	千口 7,950,196,282	千円 889,909	千口 123,334,547	千円 14,340

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

### (2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年3月19日から2024年9月17日まで)

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 336	千円 342

(注) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON- HEDGED DISTRIBUTION CLASS	千口 38,289,897,783	千円 3,984,485	% 99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

### (2) 親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 337	千口 1	千円 1

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2024年9月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 3,984,485	% 98.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	62,536	1.5
投資信託財産総額	4,047,022	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年9月17日現在

項目	当期末
(A) 資産	4,060,012,866円
コール・ローン等	62,536,523
投資信託受益証券（評価額）	3,984,485,053
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,290
未収入金	12,990,000
(B) 負債	48,507,263
未払金	25,980,000
未払信託報酬	22,363,718
その他未払費用	163,545
(C) 純資産総額（A－B）	4,011,505,603
元本	2,776,148,213
次期繰越損益金	1,235,357,390
(D) 受益権総口数	2,776,148,213口
1万口当り基準価額（C／D）	14,450円

\* 期首における元本額は2,281,721,069円、当作成期間中における追加設定元本額は644,213,478円、同解約元本額は149,786,334円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は14,450円です。

## ■損益の状況

当期 自2024年3月19日 至2024年9月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	104,639,610円
受取配当金	104,601,253
受取利息	38,362
支払利息	△ 5
(B) 有価証券売買損益	△ 196,241,457
売買益	1,235,084
売買損	△ 197,476,541
(C) 信託報酬等	△ 22,527,263
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 114,129,110
(E) 前期繰越損益金	522,832,792
(F) 追加信託差損益金	826,653,708
(配当等相当額)	( 822,775,896)
(売買損益相当額)	( 3,877,812)
(G) 合計 (D + E + F)	1,235,357,390
次期繰越損益金 (G)	1,235,357,390
追加信託差損益金	826,653,708
(配当等相当額)	( 822,775,896)
(売買損益相当額)	( 3,877,812)
分配準備積立金	604,945,139
繰越損益金	△ 196,241,457

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	82,112,347円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	822,775,896
(d) 分配準備積立金	522,832,792
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,427,721,035
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,427,721,035
(h) 受益権総口数	2,776,148,213口

**フレキシブル・インカム・ファンド**  
**(円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス)**

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型））はケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

**財政状態計算書**  
 2023年12月31日

US\$

**資産**

現金および現金同等物	77, 419, 354
ブローカーからの預託貸越	87, 543
金融資産（損益通算後の公正価値による評価額）	2, 898, 977, 100
発行済み受益証券の未収入金	15, 817, 847
その他未収金	45, 414, 716

**資産合計**


---

**3, 037, 716, 560**
**負債**

金融負債（損益通算後の公正価値による評価額）	60, 510
償還済み受益証券の未払金	70, 932
未払手数料	1, 744, 173

**負債合計（償還可能資本参加型受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）**


---

**1, 875, 615**
**償還可能資本参加型受益証券保有者に帰属する純資産**


---

**3, 035, 840, 945**



## 包括利益計算書

2023年12月31日に終了した年度

US\$

## 投資損益

金融資産（損益通算後の公正価値による評価額）からの配当収益	24,248,056
現金および現金同等物からの受取利息	3,769,747
債券（損益通算後の公正価値による評価額）からの受取利息	132,039,616
外国為替純損益	(490,687)
金融資産および負債（損益通算後の公正価値による評価額）に係る純損益	113,533,645

## 投資損益合計

273,100,377

## 費用

受託会社報酬	291,763
運用会社報酬	14,504,765
成功報酬	61
管理会社報酬	1,167,054
保管会社報酬	791,330
為替運用会社報酬	246,887
為替計算代理人報酬	20,766
監査報酬	42,549
逆イールド費用	747
その他報酬・費用	19,590

## 営業費用合計

17,085,512

## 金融費用控除前営業損益

256,014,865

## 金融費用

分配金	(147,395,878)
-----	---------------

## 金融費用合計

(147,395,878)

## 償還可能資本参加型受益証券保有者に帰属する純資産の増減（税引前）

108,618,987

## 源泉徴収税

(13,054,799)

## 償還可能資本参加型受益証券保有者に帰属する純資産の増減（税引後）

95,564,188

## 投資明細表

2023年12月31日

銘柄名	評価額 (US \$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額 (US \$)	純資産に 占める 割合(%)
<b>投資適格社債</b>					
<b>ベルギー</b>					
ANHEUSER-BUSCH ABIBB 4.9 02/01/46	17,183,964.76	0.57	GLP CAP/FIN II GLPI 5 1/4 06/01/25	9,847,092.34	0.33
ANHEUSER-BUSCH ABIBB 4.9 02/01/46	16,433,573.29	0.54	GLP CAP/FIN II GLPI 5 3/8 04/15/26	11,060,191.36	0.37
<b>カナダ</b>					
COLUMBIA PIPE OC CPGX 6.544 11/15/53	32,283,444.12	1.07	GMAC LLC ALLY 8 11/01/31	30,885,907.52	1.02
TRANSCANADA TRUS TRPCN 5 7/8 08/15/2076	13,929,252.77	0.46	GOLDMAN SACHS GP GS 7 1/2 PERP	26,273,653.00	0.87
<b>フランス</b>					
ARCELORMITTAL MTNA 7 10/15/39	10,058,521.70	0.33	HAT HOLDINGS I HASI 6 04/15/25	20,014,624.13	0.66
<b>ルクセンブルグ</b>					
ARCELORMITTAL SA MTNA 6.8 11/29/32	12,421,986.46	0.41	HCA INC HCA 5 1/8 06/15/39	31,229,890.63	1.03
<b>ペルー</b>					
SOUTHERN COPPER SCCO 5 7/8 04/23/45	10,779,990.39	0.36	HP ENTERPRISE HPE 6.35 10/15/45	74,471,121.58	2.47
<b>英国</b>					
ASHTEAD CAPITAL AHTLN 4 05/01/28	19,043,785.74	0.63	LIBERTY MUTUAL LIBMUT 7.8 03/15/37	3,492,879.93	0.12
ASHTEAD CAPITAL AHTLN 5 1/2 08/11/32	13,950,263.23	0.46	MARRIOTT INTL MAR 4 5/8 06/15/30	17,439,960.61	0.58
<b>米国</b>					
ALTRIA GROUP INC MO 5.8 02/14/39	24,138,644.48	0.80	MCDONALD'S CORP MCD 4 7/8 12/09/45	38,101,081.57	1.26
AMGEN INC AMGN 4 7/8 03/01/53	37,749,766.34	1.25	MORGAN STANLEY MS 5.948 01/19/38	17,358,794.84	0.58
ANTERO RESOURCES AR 7 5/8 02/01/29	14,807,604.39	0.49	NEXTERA ENERGY NEE 5.65 05/01/2079	28,371,450.06	0.94
ARES FIN III LLC ARES 4 1/8 06/30/51	12,153,167.60	0.40	ORACLE CORP ORCL 4.3 07/08/34	22,425,139.47	0.74
AT&T INC T Float 06/12/24	33,712,135.01	1.12	ORACLE CORP ORCL 5.55 02/06/53	10,582,654.75	0.35
BROADCOM INC AVGO 3.187 11/15/36	19,706,979.13	0.65	PHILLIPS 66 CO PSX 5.3 06/30/33	6,770,745.87	0.22
BROADCOM INC AVGO 4 3/4 04/15/29	13,917,033.12	0.46	PHILLIPS 66 PSX 4.65 11/15/34	25,000,760.23	0.83
CELANESE US HLDS CE 6.165 07/15/27	38,370,438.17	1.27	RAYMOND JAMES RJF 4.95 07/15/46	8,600,206.32	0.29
CENTENE CORP CNC 4 5/8 12/15/29	25,913,654.69	0.86	REGAL REXNORD RRX 6.05 04/15/28	2,075,383.23	0.07
CHARTER COMM OPT CHTR 6.484 10/23/45	31,983,973.16	1.06	REGAL REXNORD RRX 6.4 04/15/33	35,177,969.41	1.17
CHARTER COMM OPT CHTR Float 02/01/24	12,414,546.40	0.41	SPRINT CORP S 7 1/8 06/15/24	43,893,348.06	1.45
CHENIERE CORP CH CHCOCH 5 1/8 06/30/27	13,453,954.45	0.45	SPRINT CORP S 7 5/8 03/01/26	9,067,630.15	0.30
CVS HEALTH CORP CVS 4.78 03/25/38	32,783,874.64	1.09	TRANSCANADA TRST TRPCN 5.6 03/07/2082	15,459,932.09	0.51
DELL INT / EMC DELL 6.2 07/15/30	4,761,670.19	0.16	VIACOM INC PARA 6 7/8 04/30/36	38,782,239.33	1.29
DIAMONDBACK ENER FANG 6 1/4 03/15/33	14,741,782.84	0.49	VICI PROPRTIE VICI 5 5/8 05/15/52	23,913,263.51	0.79
ENSTAR FINANCE ESGR 5 1/2 01/15/42	8,394,430.60	0.28	VMWARE LLC VMW 4.7 05/15/30	12,924,377.71	0.43
ENSTAR FINANCE ESGR 5 3/4 09/01/40	9,173,233.58	0.30	WARNERMEDIA HLDG WBD 5.141 03/15/52	23,689,626.98	0.79
FORD MOTOR CO F 5.291 12/08/46	25,992,437.21	0.86	XPO INC XPO 6 1/4 06/01/28	18,367,827.68	0.61
FORD MOTOR CRED F 7.35 11/04/27	17,194,292.14	0.57	<b>ハイ・イールド社債</b>		
GENERAL MOTORS C GM 6.6 04/01/36	42,440,448.43	1.41	<b>カナダ</b>		
			ALGONQUIN POWER AQNCN 6.2 07/01/2079	6,895,654.23	0.23
			AUTOMATION TOOLI ATSCN 4 1/8 12/15/28	11,987,992.44	0.40
			EMERA INC EMACN 6 3/4 06/15/2076	45,857,943.67	1.52
			<b>米国</b>		
			ALBERTSONS COS ACI 7 1/2 03/15/26	43,186,082.67	1.43
			AMKOR TECH INC AMKR 6 5/8 09/15/27	34,788,772.93	1.15
			ASHLAND INC ASH 6 7/8 05/15/43	13,478,708.89	0.45
			AVANTOR FUNDING AVTR 4 5/8 07/15/28	11,299,047.96	0.37

銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)
BATH & BODY WORKS INC 6.875 11/01/2035	32,153,090.25	1.07	BANK OF AMER CRP BAC 6.1 PERP	10,242,897.43	0.34
CCO HOLDINGS LLC CHTR 5 1/8 05/01/27	21,805,979.25	0.72	BANK OF AMER CRP BAC 6.3 PERP	12,031,129.80	0.40
CNF INC CNW 6.7 05/01/34	13,445,857.16	0.45	CAPITAL ONE FINL COF 3.95 PERP	3,801,833.02	0.13
DANA INC DAN 4 1/4 09/01/30	11,884,959.92	0.39	CHARLES SCHWAB SCHW 5 3/8 PERP	24,891,978.37	0.82
DANA INC DAN 5 5/8 06/15/28	11,315,611.92	0.38	CHS INC CHSINC 6 3/4 PERP	12,518,985.66	0.41
ENCOMPASS HLTH EHC 4 3/4 02/01/30	5,175,163.56	0.17	CHS INC CHSINC 7 7/8 PERP	7,045,117.56	0.23
GAP INC/THE GPS 3 5/8 10/01/29	17,361,212.01	0.58	CHS INC CHSINC 7.1 PERP	8,399,383.63	0.28
GAP INC/THE GPS 3 7/8 10/01/31	9,770,483.08	0.32	CITIGROUP INC C 4 PERP	16,653,547.71	0.55
GCI LLC GCILLC 4 3/4 10/15/28	19,128,224.31	0.63	CITIGROUP INC C 5.95 PERP	5,572,284.26	0.18
GOODYEAR TIRE GT 5 1/4 07/15/31	15,815,384.25	0.52	CITIGROUP INC C 6 1/4 PERP	17,717,977.74	0.59
GOODYEAR TIRE GT 9 1/2 05/31/25	7,081,758.92	0.23	CITIGROUP INC C 7 3/8 PERP	15,319,721.25	0.51
IRON MOUNTAIN IRM 4 7/8 09/15/29	15,236,640.68	0.50	CITIGROUP INC C 9.63301 PERP	3,013,421.62	0.10
NCR VOYIX CORP VYX 5 1/4 10/01/30	21,040,260.39	0.70	DISCOVER FIN SVS DFS 6 1/8 PERP	9,217,940.55	0.31
NCR VOYIX CORP VYX 5 1/8 04/15/29	11,006,639.77	0.36	DOMINION ENERGY D 4.35 PERP	12,797,978.86	0.42
NEXSTAR BROADC NXST 4 3/4 11/01/28	4,437,240.01	0.15	EDISON INTL EIX 5 PERP	21,041,532.71	0.70
NEXSTAR ESCROW NXST 5 5/8 07/15/27	31,891,517.11	1.06	ENSTAR GROUP LTD ESGR 7 PERP	5,919,406.68	0.20
NORDSTROM INC JVN 5 01/15/44	18,098,372.03	0.60	FIRST CITIZENS FCNCA Float PERP	9,554,089.74	0.32
PARAMOUNT GLOB PARA 6 3/8 03/30/62	9,847,244.06	0.33	GEN MOTORS FIN GM 5.7 PERP	10,727,753.60	0.36
PNC FINANCIAL PNC Float PERP	7,055,997.77	0.23	GEN MOTORS FIN GM 6 1/2 PERP	5,395,181.42	0.18
ROLLER BEARING RBC 4 3/8 10/15/29	20,475,872.71	0.68	GOLDMAN SACHS GP GS 4.95 PERP	2,045,671.95	0.07
SEAGATE HDD CAYM STX 4.091 06/01/29	9,106,211.65	0.30	GOLDMAN SACHS GP GS 5.3 PERP	6,150,746.33	0.20
SEAGATE HDD CAYM STX 9 5/8 12/01/32	18,355,585.36	0.61	JPMORGAN CHASE JPM 6 3/4 PERP	52,593,327.45	1.74
SEALED AIR CORP SEE 6 7/8 07/15/33	28,577,103.13	0.95	JPMORGAN CHASE JPM 6.1 PERP	8,101,989.89	0.27
SEALED AIR/US SEE 6 1/8 02/01/28	2,300,567.00	0.08	LAND O'LAKES INC LLAKES 7 1/4 PERP	1,370,286.46	0.05
SEG HLD/SEG FIN SEGHLD 5 5/8 10/15/28	13,422,465.94	0.44	LAND O'LAKES INC LLAKES 7 PERP	635,729.17	0.02
SIRIUS XM RADIO SIRI 4 07/15/28	14,689,968.28	0.49	MORGAN STANLEY MS 6 1/2 PERP	4,676,579.00	0.16
TENET HEALTHCARE THC 6 1/8 10/01/28	11,590,976.53	0.38	MORGAN STANLEY MS 6 7/8 PERP	1,446,156.00	0.05
TRIPADVISOR INC TRIP 7 07/15/25	36,987,236.48	1.23	MORGAN STANLEY MS 7 1/8 PERP	11,542,002.16	0.38
UNITED RENTAL NA URI 5 1/4 01/15/30	22,357,469.80	0.74	NATIONAL STORAGE NSA 6 PERP	5,236,212.72	0.17
VIASAT INC VSAT 5 5/8 04/15/27	23,537,481.09	0.78	NRG ENERGY INC NRG 10 1/4 PERP	15,459,622.76	0.51
VISTRA OPERATION VST 5 07/31/27	20,435,633.78	0.68	PNC FINANCIAL PNC 6.2 PERP	19,943,867.62	0.66
WESCO DISTRIBUT WCC 7 1/4 06/15/28	14,572,294.45	0.48	REINSURANCE GRP RGA 7 1/8 10/15/52	21,440,213.50	0.71
XPO INC XPO 7 1/8 06/01/31	5,029,863.39	0.17	SCE TRUST VII EIX 7 1/2 PERP	22,230,022.50	0.74
<b>優先証券</b>			SEMPRA SRE 4 7/8 PERP	14,113,632.76	0.47
<b>米国</b>			SYNCHRONY FINANC SYF 5 5/8 PERP	5,457,900.00	0.18
ALLSTATE CORP ALL 7 3/8 PERP	15,207,075.00	0.50	VISTRA CORP VST 7 PERP	9,385,208.33	0.31
ALLY FINANCIAL ALLY 4.7 PERP	18,411,292.13	0.61	VISTRA CORP VST 8 PERP	34,038,837.91	1.13
ALLY FINANCIAL ALLY 4.7 PERP	4,906,663.31	0.16	WELLS FARGO CO WFC 5 7/8 PERP	21,626,130.10	0.72
AMERICAN EXPRESS AXP 3.55 PERP	14,771,019.24	0.49	WELLS FARGO CO WFC 7 5/8 PERP	25,917,519.07	0.86
ATHENE HOLDING ATH 6 3/8 PERP	15,505,571.34	0.51	WESCO INTL WCC 10 5/8 PERP	7,133,400.00	0.24
ATHENE HOLDING ATH 6.35 PERP	5,180,358.64	0.17	<b>転換社債</b>		
BANK OF AMER CRP BAC 6 1/2 PERP	7,483,873.61	0.25	<b>米国</b>		
BANK OF AMER CRP BAC 6 1/4 PERP	15,212,868.66	0.50	BANK OF AMER CRP BAC 7 1/4 PERP	14,528,445.12	0.48
			FIRSTENERGY CORP FE 4 05/01/26	14,158,188.89	0.47

# NWQグローバル厳選証券ファンド

銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)
MER LYNCH INT CV BAC 0.12 02/20/24	14,846,099.12	0.49
WELLS FARGO CO WFC 7 1/2 PERP	22,619,934.78	0.75
<b>普通株式</b>		
<b>フランス</b>		
SANOFI-ADR	22,249,202.00	0.74
<b>英国</b>		
SHELL PLC-ADR	16,397,360.00	0.54
<b>米国</b>		
AMERICAN TOWER CORP	14,701,428.00	0.49
APPLIED MATERIALS INC	8,314,191.00	0.28
CARRIER GLOBAL CORP	16,338,780.00	0.54
CIGNA GROUP/THE	14,792,830.00	0.49
CISCO SYSTEMS INC	7,204,152.00	0.24
CONOCOPHILLIPS	12,117,708.00	0.40
DUPONT DE NEMOURS INC	15,978,361.00	0.53
EXXON MOBIL CORP	13,277,344.00	0.44
GENERAL DYNAMICS CORP	14,749,256.00	0.49
GILEAD SCIENCES INC	15,456,708.00	0.51
HEWLETT PACKARD ENTERPRIS	15,501,042.00	0.51
HUMANA INC	20,601,450.00	0.68
HUNTINGTON INGALLS INDUST	15,370,688.00	0.51
INTEL CORP	16,281,000.00	0.54
KENVUE INC	6,717,360.00	0.22
MCDONALD'S CORP	21,763,834.00	0.72
MEDTRONIC PLC	13,238,466.00	0.44
NVENT ELECTRIC PLC	17,187,331.03	0.57
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	14,704,704.00	0.49
PUBLIC STORAGE	17,659,500.00	0.59
SEALED AIR CORP	7,764,152.00	0.26
SEMPRA	13,609,379.22	0.45
VALERO ENERGY CORP	6,136,000.00	0.20
WALMART INC	22,071,000.00	0.73

<補足情報>

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2023年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2024年9月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄  
公 社 債

(2024年3月19日から2024年9月17日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
1239国庫短期証券 2024/9/24	千円 9,999,950		千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2024年9月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（18,756,257千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

作 成 期	2024年9月17日現在							
	区 分	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
						5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	10,000,000	9,999,996	52.5	—	—	—	52.5	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2024年9月17日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	1239国庫短期証券	% —	千円 10,000,000	千円 9,999,996	2024/09/24	

(注) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第19期 (決算日 2023年12月11日)

(作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

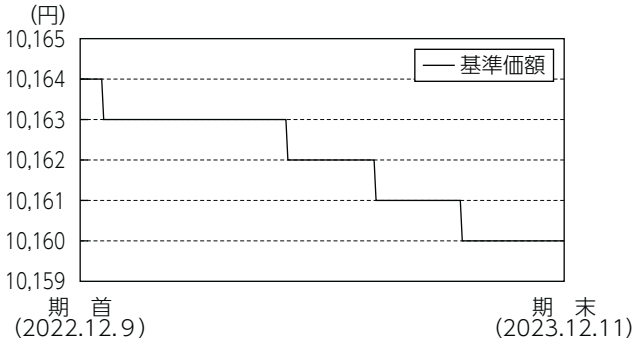
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比	
(期首)2022年12月9日	円	%	%
	10,164	-	-
12月末	10,163	△0.0	-
2023年1月末	10,163	△0.0	-
2月末	10,163	△0.0	-
3月末	10,163	△0.0	-
4月末	10,163	△0.0	-
5月末	10,162	△0.0	-
6月末	10,162	△0.0	-
7月末	10,161	△0.0	-
8月末	10,161	△0.0	-
9月末	10,160	△0.0	-
10月末	10,160	△0.0	-
11月末	10,160	△0.0	-
(期末)2023年12月11日	10,160	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,164円 期末：10,160円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	19,535,266	100.0
投資信託財産総額	19,535,266	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	19,535,266,323円
コール・ローン等	19,535,266,323
(B) 負債	29,184,000
未払解約金	29,184,000
(C) 純資産総額(A - B)	19,506,082,323
元本	19,198,713,135
次期繰越損益金	307,369,188
(D) 受益権総口数	19,198,713,135口
1万口当り基準価額(C / D)	10,160円

\* 期首における元本額は14,576,480,402円、当作成期間中における追加設定元本額は27,183,021,765円、同解約元本額は22,560,789,032円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ワールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	6,471,708,187円
ダイワ・グローバルIT関連株ファンド - A I新時代- (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIT関連株ファンド - A I新時代- (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワF Eグローバル・バリュー (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワF Eグローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	49,107円
世界水資源関連連立株式ファンド	984円
ダイワ/RICI® コモディティ・ファンド	2,074,249円
堅実バランスファンド - ハジメの一步-	82,551,045円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
iFreeETF NASDAQ100インパース	3,668,122,787円
iFreeETF NASDAQ100バレッジ	3,404,533,061円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインパース	1,690,708,296円
DCダイワ・マネー・ポートフォリオ	3,873,348,807円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	132,757円
リターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)	
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	52,987円
リターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)	
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	467,315円
リターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	12,784円
リターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)	
ダイワF Eグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)	33,689円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース	9,817円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース	6,964円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	982,368円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	9,652円
リターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,160円です。

## ■損益の状況

当期 自2022年12月10日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,497,360円
受取利息	7,522
支払利息	△ 6,504,882
(B) 当期損益金(A)	△ 6,497,360
(C) 前期繰越損益金	238,705,846
(D) 解約差損益金	△365,355,257
(E) 追加信託差損益金	440,515,959
(F) 合計(B + C + D + E)	307,369,188
次期繰越損益金(F)	307,369,188

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。